

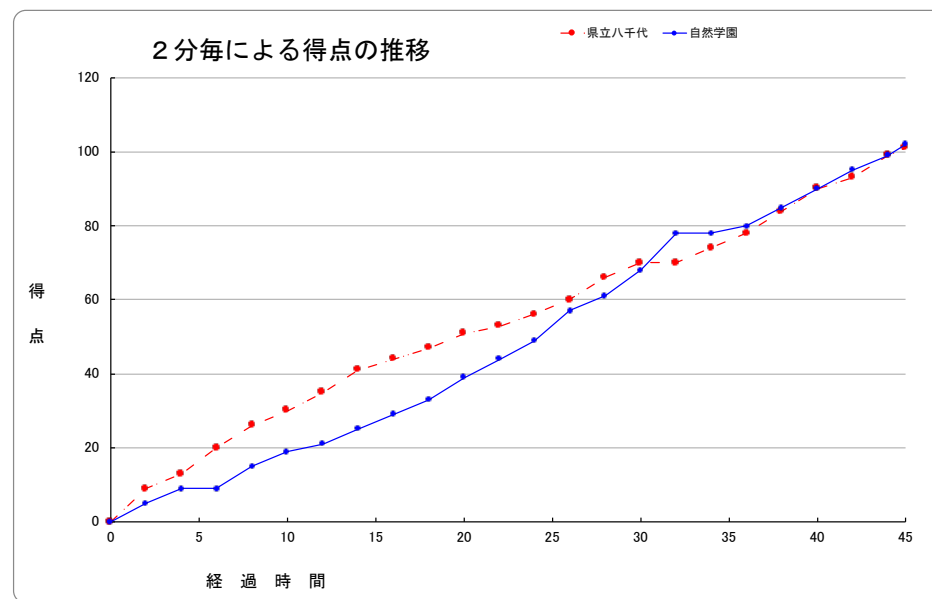
令和5年度 第34回関東高等学校 バスケットボール新人大会

令和6年2月3日(土)
深谷ビッグタートル
1回戦

チームA				チームB		
自然学園 (山梨)	102	{	19 1st 30 20 2nd 21 29 3rd 19 22 4th 20 12 OT 11	}	101	県立八千代 (千葉)

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
1	内田 竜	0													
6	木村 ジェリマイヤ	0													
7	杉田 真斗	14	0	1	7	13	0	0	1	0	2	2	16	0	11
8	三澤 夢咲士	0													
12	赤木 楓馬	9	3	12	0	0	0	0	2	0	3	3	1	0	1
13	堀本 虎太郎	1	0	0	0	2	1	2	1	1	4	0	0	0	0
17	後藤 吏輝	0													
18	古川 蓮斗	0													
21	石堂 奏心	24	3	6	7	11	1	4	4	2	6	1	0	0	3
23	酒寄 里輝人	0													
25	平川 大稀	23	4	18	5	11	1	1	4	0	1	5	1	0	3
33	三ッ谷 龍仁	0													
55	宮岡 伊吹	0													
77	鈴木 崑王	0													
99	ATTAMA HILLARY	31	0	0	13	24	5	8	3	11	22	1	1	5	4
コーチ	西塚 建雄														
		102	10	37	32	61	8	15	15	14	38	12	19	5	22
		確率	27.0%		52.5%		53.3%			計	52				

番号	氏名	得点	3P		2P		FT		反則	リバウンド		スチール	アシスト	ブロック ショット	ターンオーバー
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF				
4	宮原 悠太	16	2	4	5	20	0	0	1	2	5	2	7	0	5
5	村上 幸之介	8	0	7	4	10	0	0	5	0	5	2	0	0	2
6	島貴 俊真	26	6	8	4	9	0	0	1	4	7	0	1	0	1
7	松下 大樹	15	2	6	3	5	3	4	4	2	5	4	1	1	5
8	井上 大雅	4	0	2	2	6	0	0	1	0	1	0	1	0	2
9	國上 爽汰	0	0	1	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1
10	村上 元太	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	山本 匠馬	26	2	4	6	14	8	10	2	4	3	4	8	0	2
12	井口 侑真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	横川 遥也	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
14	加藤 彰人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	澤口 陽	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
16	手代木 海聖	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	スミス ジャスティン 倫	6	0	0	3	5	0	0	3	6	11	2	2	1	2
18	三田 大翔	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
コーチ	藤橋 洋輔														
		101	12	35	27	72	11	14	17	21	38	15	20	2	20
		確率	34.3%		37.5%		78.6%			計	59				



戦評

第1Q、自然学園は2-3ゾーン、八千代はオールコートプレスでスタート。序盤、八千代の早い展開のバスケットで#11が得点を重ねる。対する自然学園は#7を起点に#21、#25シュートチャンス演出。八千代は自然学園のゾーンディフェンスに対して細かいパスワークで崩し、#6が3P2本を含む連続10得点と爆発。自然学園は#99の高さを活かしたプレーでバスケットカウントを決めるなど食らいつき、19-30と八千代リードで第1Q終了。

第2Q、八千代がゾーンディフェンスに変える。自然学園#99のインサイドアタックに対して徹底した守りと強いリバウンドで得点を許さない。八千代は#11、#4、#6の4連続3Pで最大18点リードをする。自然学園は#7の鋭いドライブインで得点を重ねるとオフェンスにリズムが生まれ、#99の力強いプレーで得点を重ねる。終盤#12がチーム初の3Pを沈め、第2Qは20-21と互角の戦いを見せ、39-51と八千代リードで第2Q終了。

第3Q、開始早々自然学園#21の連続3P、#12、#25の3Pが火を吹き、開始6分で20得点と猛追、1点差まで詰め寄る。八千代は代わって入った#6の連続3Pが決まり、お互いに引かない一進一退の攻防を繰り広げる。残り2分代わって入った八千代#11のジャンパー、ドライブが光り、リードを許さない。68-70八千代リードで第3Q終了。

第4Q、自然学園#25の連続6得点でついに逆転。八千代はタイムアウトを取り、ディフェンスをゾーンプレス、ゾーンに変え、ディフェンスからオフェンスの流れを掴む。#11の気迫あふれるプレーで残り3分30秒、ついに八千代が逆転。自然学園は#25の3P、#21のインサイドへの合わせで応戦し、シーソーゲームが続く。残り8秒八千代ボール、90-88自然学園リードから八千代#4が試合終了間際に同点のジャンパーを決め、90-90の同点で延長戦に入る。

延長、自然学園は#12の3Pで得点。対する八千代は#4のジャンパーで応戦する。逼迫した展開の中で自然学園#99のインサイド、ブロックショットが八千代を阻む。残り30秒自然学園#99がバスケットカウントでフリースローも決め切り、三度逆転。最後リードを守り切った自然学園が102-101で勝利した。

文責:土屋 謙太

Ref	若林 哲	1st U	大和田 雅人	2nd U	數野 竜平
-----	------	-------	--------	-------	-------